

【全体概要】

県内のキウイフルーツの栽培品種は、果肉が緑色の「ヘイワード」が主であるが、需要と栽培面積拡大のため、新品種の導入を検討されている。県育成新品種「甘い」は、果肉が黄色で食味良好、「ヘイワード」より生育および収穫時期が早く労力分散が可能である。面積拡大・所得向上に向けて、「甘い」を導入推進し、栽培技術の確立と実需者とのマッチング活動をおこなう。

新品種・新技術等の概要

- 品種名：「甘い」
- 特性：「ヘイワード」よりも生育、出荷時期が早い。
果肉が黄色で食味良好。
- 育成者：福岡県農林業総合試験場
- 育成年：2013年
- 普及状況：供給苗木本数2015年春までに3,740本



主な取組内容

【品種・技術の特性把握】

- ・試験場と連携して、実証展示ほ設置、検討会(5月)
- ・果実の収穫、追熟、品質調査(10～11月)
- ・品質評価会(12月)

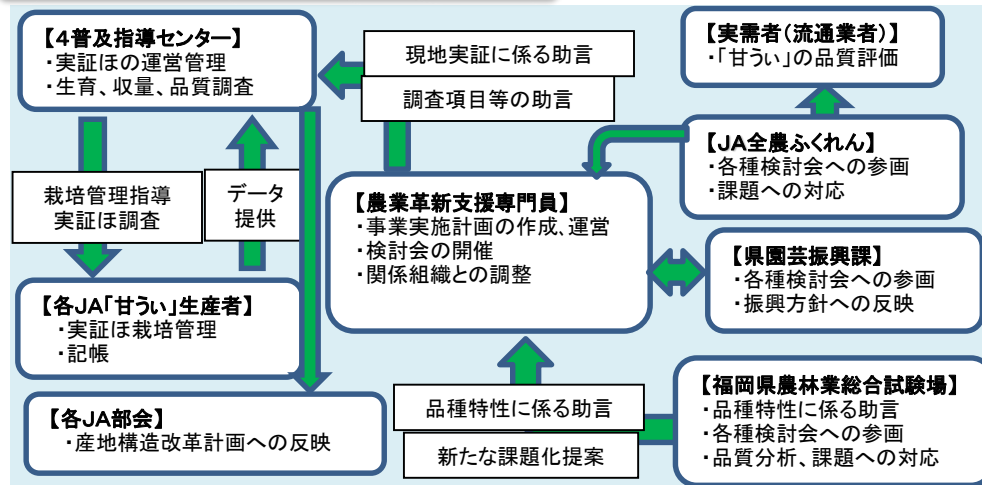
【栽培・技術マニュアルの作成】

- ・試験場データ、実証試験結果を踏まえ、栽培マニュアル作成を検討。
- ・苗木植え付けに関する部分を作成。

【品種・技術と産地・実需者とのマッチング活動】

- ・産地に対して品種の情報提供を行う。

コンソーシアム候補の体制図



課題と今後の対応

産地ブランド候補「甘い」の現地における品質を明らかにし、品質向上対策を検討した。

栽培技術確立のために、高品質果実の安定生産に向けた現地試験を継続するとともに、栽培マニュアルを検討、作成する。

コンソーシアム候補の形成については、実需者との品質評価が未実施のため、産地・実需者との品質評価会を実施し、販売戦略等を検討するとともに、共通認識を醸成する。